

はだの歴史博物館ニュース



Vol. 12 令和5年度 秋号

HADANO HISTORY MUSEUM NEWS

企画展

「学制150年われらの学び舎ヒストリー」

～昔はみんな子どもだった～

明治5年(1872年)に 学制が發布され、すべての国民を対象とした教育制度が実現しました。今回の企画展では当時の様子と歴史を秦野市内の資料から見ていきます。

日 程 令和5年10月14日(土)～12月17日(日)

時 間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

場 所 はだの歴史博物館 第二企画展示室

- 展示内容
1. 学制について 学校の呼称と変遷及び年表
 2. 創設当時の学校 写真・教科書
 3. 教育令、小学校令について
 4. 児童・生徒の推移 教材・成績表
 5. 校歌・校章と教育目標 校歌歌詞 写真



教科書



北小学校



西秦野尋常高等小学校

企画展 (はだの歴史博物館・東海大学提携事業)

「村の戦いと暮らし-江戸時代の秦野」

今回の展示では 徳川家康の開いた江戸幕府と秦野の関わり、中でも丹沢山麓の村として特徴的な江戸時代の事柄を主にとりあげます。

この企画展は東海大学ティーチングクオリフィケーションセンターとの提携事業の一環として 学芸員課程を履修する学生と共同して実施します。

日 程 令和5年10月31日(火)～令和6年1月14日(日)

時 間 午前9時～午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

場 所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

- 展示内容
1. 戦国時代! どうなる秦野 田原城主大藤氏や小田原合戦
 2. 江戸幕府と丹沢山麓の村 幕府御林 宝永噴火 鉄砲所持
 3. 我らが村の領主
 4. 家康ゆかりの地を記した 相中留恩記略
 5. 江戸時代の暮らし 【学生による企画・展示】



相中留恩記略



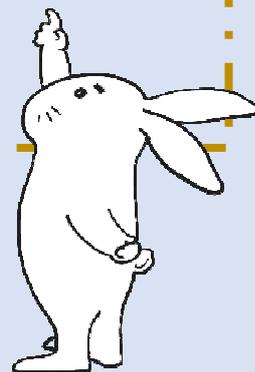
江戸時代の村

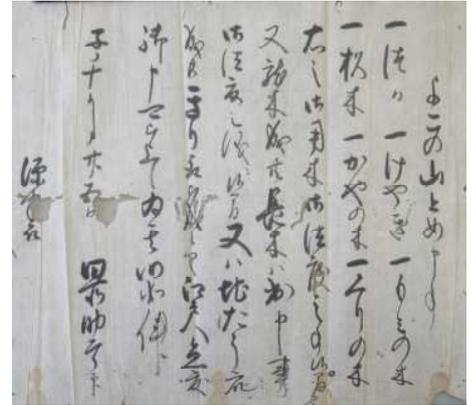
関連イベント 担当学芸員による展示解説

日時 11月3日(日)(予約不要)

第一回目 午前11時より

第二回目 午後2時より





丹沢に江戸幕府直轄の林があった

これは、市内の横野地区の古い家に残され、現在は市の所蔵となっている古文書です。冒頭に「よこの山とめ申し候事」と記し、^{つが} 榎・^{けやき} 樺・^{もみ} 樅・^{すぎ} 杉・^{かや} 榿・^{くり} 栗、これら6種類の木の伐採を固く禁じています。「よこの」は市内の横野で、これを「ほたい」（菩提）と記した古文書もあります。清川村には同内容で「すゝかや」（煤ヶ谷）と記した古文書が残されています。これは写しですが、元の正式な文書は残されていません。

年代を^ね子年と記すこの古文書とほぼ同内容のものが、天保12年（1841）に江戸幕府が編さんした地誌である『新編相模国風土記稿』愛甲郡にある丹沢山の項目で、横野村の名主の家の文書として掲載され、寛永元年（1624）に出された掟書きであることがわかります。同項目には、徳川家康が関東へ来てから丹沢山は御林とされていること、煤ヶ谷・宮ヶ瀬・寺山・横野等の民が御林の警固にあたり他村民の勝手な入山は禁じられていることも記されています。

燃料や建築物に大量の木が必要だった時代は、良質な木材を確保することも重要な課題でした。徳川家康が関東に移り戦乱の世が終わると、将軍のお膝元である江戸をはじめ、各地で都市の建設が急速に進みます。この古文書は、このような江戸時代初期の建設ラッシュを背景に、その用材確保のために発給されたものと考えられます。

江戸時代の丹沢には「御林」と呼ばれる幕府の直轄林が設けられていました。横野、菩提、煤ヶ谷は、この丹沢の御林を管理する役目を負う^{やまもり}山守の村です。宮ヶ瀬・寺山も山守の役目についていたので、これらの村へも同じような文書が発給されたのかもしれませんが。通説では、この掟書きをもって、丹沢の御林と山守の村が同時に設定されたと考えられています。秦野の人々が丹沢山を通して幕府と関わったことを示す古文書の1つです。

（はだの歴史博物館 博物館研究員 早田 美智代）

令和5年度 第3回「ミュージアムさくら塾」開催のお知らせ

令和5年度 第3回目のミュージアムさくら塾を開催します。
テーマ:「江戸時代の史料に見る秦野の暮らし」

日	時	令和5年11月11日(土) 午前10時～正午
場	所	はだの歴史博物館 第一企画展示室
申	込	はだの歴史博物館に電話で事前予約 (博物館電話 0463-87-5542)
参	加	200円
講	師	東京大学 大学院 准教授 戸石 七生 氏

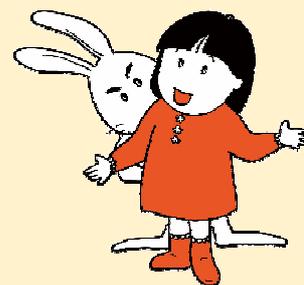
令和5年指定文化財特別公開

文化財保護強調週間の関連行事として 通常は公開されていない
指定文化財の特別公開を実施します

日 時 令和5年11月1日(水)から11月5日(日)まで
公開時間 各寺院 午前10時より午後3時まで
はだの歴史博物館 午前9時より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

公開する指定文化財の場所(いずれも入場無料)

- (1) はだの歴史博物館 秦野市堀山下380-3
- (2) 蓑毛大日堂ほか 秦野市蓑毛721ほか
- (3) 太岳院 秦野市今泉391
- (4) 金剛寺 秦野市東田原1116



※ 寺院の都合(法事など)等により拝観できない場合があります。



銀装圭頭太刀
はだの歴史博物館



十一面観音菩薩
太岳院



阿弥陀三尊
金剛寺



五智如来
大日堂

<はだの歴史博物館へのアクセス>

- ☆小田急線渋沢駅北口より徒歩20分
- 〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- 〃 バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車徒歩3分
- 〃 バス渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- ☆小田急線秦野駅北口より
- 〃 バス秦54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- 〃 バス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車徒歩3分
- ☆入館無料 開館時間午前9時～午後5時 駐車場有
(月曜と祝日の翌平日・年末年始は休館)(入館は午後4:30まで)

はだの歴史博物館ニュース Vol. 12 令和5年度 秋号

発行日 令和5年10月23日

編集発行 はだの歴史博物館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ: はだの歴史博物館

検索

